【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成30年8月9日(2018.8.9)

【公表番号】特表2017-529446(P2017-529446A)
【公表日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2017-523181(P2017-523181)
【国際特許分類】
Ｃ０９Ｄ 201/00 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 5/02 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 7/40 (2018.01)
Ｃ０９Ｄ 131/04 (2006.01)
Ｃ０９Ｄ 133/00 (2006.01)
Ｂ０５Ｄ 5/00 (2006.01)
Ｂ０５Ｄ 7/00 (2006.01)
Ｂ０５Ｄ 7/24 (2006.01)
Ｅ０４Ｆ 13/072 (2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０９Ｄ 201/00
Ｃ０９Ｄ 5/02
Ｃ０９Ｄ 7/12
Ｃ０９Ｄ 131/04
Ｃ０９Ｄ 133/00
Ｂ０５Ｄ 5/00 Ｚ
Ｂ０５Ｄ 7/00 Ｌ
Ｂ０５Ｄ 7/24 ３０１Ｃ
Ｅ０４Ｆ 13/072

【手続補正書】
【提出日】平成30年7月2日(2018.7.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
水、水分散性ポリマーバインダー及び十分量のアルコールの液体混合物を含み、アルコールの量は少なくとも１０ｗｔ％であり、
該混合物を外壁上に塗布した後に少なくとも前記バインダーがバリア膜を形成する、建築物の外壁上にバリア膜を形成するためのコーティング組成物。
【請求項２】
前記液体混合物の少なくとも１６ｗｔ％が水である、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記液体混合物の１６ｗｔ％～３５ｗｔ％が水である、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記液体混合物の１０ｗｔ％～２２ｗｔ％がアルコールである、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】

前記液体混合物が、１０ｗｔ％～１２ｗｔ％の範囲内でアルコールを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記液体混合物が、１４．５ｗｔ％～２４ｗｔ％の範囲内で水を含む、請求項５に記載の組成物。
【請求項７】
前記バインダーが、酢酸ビニルアクリルコポリマーを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項８】
水の量がアルコールの量より多い、請求項１に記載の組成物。
【請求項９】
１．３ｗｔ％～１．７ｗｔ％の量で存在する増粘剤をさらに含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項１０】
混合物が、充填材を２５ｗｔ％～４５ｗｔ％含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項１１】
混合物が、充填材を２４ｗｔ％～３２ｗｔ％含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項１２】
請求項１に記載の組成物が充填された、容器。
【請求項１３】
基材の温度が０℃以下の間に、請求項１に記載の組成物を基材上に塗布する工程を含み、硬化に続いて塗膜が基材上に形成する、基材上に塗膜を形成する方法。
【請求項１４】
混合物を基材上に塗布する工程が、前記混合物を基材上にローラー塗り又は吹付けすることを含む、請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】
アルコールを少なくとも８２ｗｔ％含む第１の混合物を用意する工程；
水分散性ポリマーバインダー及び水を含む液体組成物を用意する工程；
前記第１の混合物と前記液体組成物とを混合して、少なくとも１０ｗｔ％の量のアルコールを有する第２の混合物を形成する工程；並びに
前記第２の混合物を基材上に塗布する工程
を含む、建築物の外壁の基材に膜組成物を適用する方法。
【請求項１６】
前記第２の混合物が水を１４．５ｗｔ％～２４ｗｔ％含む、請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】
混合する工程が、アルコールを１０ｗｔ％～２２ｗｔ％有する第２の混合物を形成することを含む、請求項１５に記載の方法。
【請求項１８】
混合する工程が、アルコールを少なくとも１０ｗｔ％～１２ｗｔ％有する第２の混合物を形成することを含む、請求項１５に記載の方法。
【請求項１９】
塗布する工程が前記第２の混合物を吹付けすることを含み、基材が垂直な外壁である、請求項１５に記載の方法。
【請求項２０】
塗布する工程が、前記第２の混合物を基材上に－１５℃～－１２℃の周囲温度で塗布することを含む、請求項１５に記載の方法。